

令和2年度の重点目標

やりとりの楽しさが味わえる機会を増やす

1 目標設定の意図

- (1) 当校の現状と課題
 - ・前年度、コミュニケーションの力を育む授業研究を実施した。今年度は、身に付いた力が日常生活に般化できるようにすることが課題となっている。
- (2) 自立と社会参加に向けた課題
 - ・自立と社会参加は、当校の願いである。その実現には、児童生徒が関わる人たちと思いを交わせることがとても重要である。

2 連続した指導・支援

学校で学んだコミュニケーションの方法を、実生活で活用できるようになるためには、小・中・高等部が一貫した方針の下、児童生徒一人一人の障害の特性や発達段階に応じた指導・支援を実施するとともに、次の学部支援を確かに引き継ぐことが大切である。

各学部は発達段階を踏まえ、次のように学部としての方向を設定することとした。

小学部：身近な教師や友達とのかかわりを深める。



中学部：気持ちを伝え合いながら、友達と協力して取り組む。



高等部：協調性をもって人とのかかわる力や、作業活動に必要なコミュニケーション能力を高める。

3 コミュニケーションの指導・支援で大切にしたいこと

コミュニケーションの力を育むために大切なことは、やりとりの楽しさを味わえるようにすることであると考えます。このことで、自ら周囲に働き掛けようという意欲が醸成され、活発なやりとりへと可能性を広げるからである。

このような理由から、今年度は学校生活の中で、やりとりの楽しさが味わえる機会を多く設定することを重点目標とし、コミュニケーションの力の育成に取り組む。